

2021年11月4日

各位

セキ株式会社
 代表取締役社長 関 宏孝
 (JASDAQ・コード 7857)
 問合せ先
 役職・氏名 執行役員経営管理本部長
 吉川 浩司
 TEL 089-945-0111

2022年3月期第2四半期業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2021年5月14日に公表しました2022年3月期(2021年4月1日より2022年3月31日まで)の第2四半期連結業績予想数値ならびに第2四半期個別業績予想数値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、これを公表することにつきまして、本日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

業績予想と実績値の差異

1. 2022年3月期第2四半期連結業績予想数値と実績値の差異
 (2021年4月1日~2021年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	5,360	△174	△80	△77	△18円49銭
実績値(B)	5,156	△42	91	91	22円07銭
増減額(B-A)	△204	132	171	168	—
増減率(%)	△3.8%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	5,150	△152	△46	△61	△14円82銭

2. 2022年3月期第2四半期個別業績予想数値と実績値の差異
 (2021年4月1日~2021年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	4,000	△22	△22	△5円28銭
実績値(B)	3,946	127	118	28円53銭
増減額(B-A)	△54	149	140	—
増減率(%)	△1.4%	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	3,750	△5	△0.5	△0円13銭

3. 差異が生じた理由

売上については、印刷関連事業における首都圏での印刷需要や出版・広告代理関連事業における広告需要が想定まで回復しなかったなどにより前回発表予想を下回りました。利益面については、採算の向上に努めたことや修繕等の計画が第3四半期以降の発生となることなどにより営業利益は前回発表予想を上回りました。それに加え、株式市況が好調を維持したことで有価証券の運用が想定を上回ったことなどにより、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益及び個別の四半期純利益についても前回発表予想を上回ることとなりました。

2022年3月期通期の連結業績予想及び個別予想につきましては、当初第2四半期までに想定していた費用が第3四半期以降に発生することなどにより、2021年5月14日公表の通期の業績予想に変更はありません。

以上